

中央中学校だより

文責：北九州市立中央中学校 校長 青木哲也

【生徒総会が開催されました6月3日金】

○生徒総会や生徒会選挙が開催される意味は、皆さんが将来、社会に出た際に、民主的に議論して物事を決め、その議論を尽くした上で多数決や、多数の人に支持を受けた代議員が代表となって物事を運営していく仕組みを学ぶために実施しています。社会への準備のための学習です。

今年の生徒総会では、

- ・第1号議案…各委員会の年間目標や活動計画
- ・第2号議案…文化祭・体育大会のスローガン
- ・第3号議案…要望事項 でした。

自分たち自身のことを考える第1号、2号議案には、ほとんど意見がありませんでした。自分たちが選んだ生徒会執行部の案が完璧であったのか、関心がないのか、もっと、踏み込んだ意見交換をして欲しいと願っています。

- ・第3号議案の要望では、生徒会が見解を加えて、一定の方向性を示したものの、その見解とは異なる方向になった議案もありました。いわゆる校則の見直し等もこの中の議論に含まれています。
- ・学校の授業や行事に関するもの（学校として決める内容）などで、多数決で決められない質のものもありました。議論の進め方に課題が残る点がありました。

【年度始めの職員会議の中で】

- 学校教育目標を
「規律ある学校生活を通して、確かな学力を身に付けさせ、健やかな体と思いやりのある心豊かな生徒を育成する」と先生方で確認しました。
「校訓」である「自立 克己 友愛」を大切にすることも話しました。
- ・自立…自ら考え正しく判断し、責任をもって行動できる。
 - ・克己…強い意志をもって、自らを戒め、向上しようとする。
 - ・友愛…豊かな情操をもち、思いやりがあり、互いに敬愛し合える。

このもとの、自分たちで考え決めたことは、自分たちで守り、実現させる。自分の行動が未来を変える力があることを伝えよう。生徒の力を信じて任せられることは任せる。という話をしました。

【生徒総会後の職員会議の中で】

- これからは、身だしなみ等については、生徒自身や保護者の責任において、適切なものにしてもらうものであろう。常識の中での判断を期待する。
- 成長途中の生徒にとって、学校は学習の場である。その生徒にとってよくない方向は、個人的に指導することを継続しよう。というものでした。

【学校は学習をする

フォーマルな場所であること】

- 時間帯や場所、場面に応じた「ドレスコード」というものがあります。学校は上に書いたような学習をするフォーマルな場所です。標準服やスタンダードを着くずすことは適切ではありません。身だしなみは、中学生として、清潔感があり、華美にならないことを、原則にして、生徒会執行部が説明していたように、いつでも人に会える、面接などでも失礼にならないことを基本とします。家庭でも指導をお願いします。おしゃれば、家庭生活でしてください。

【第3号議案の中身について】

- 第3号議案…要望事項
- 【学校のきまりに関する職員会議の判断】
- 1 靴の色を紺も許可してほしい。
- 2 インナーの色の規定をなくしてほしい。
- 1, 2生徒可決⇒**職常識の範囲内で可能 華美な場合や、極端なものは指導します。**
- 3 平日の部活動後に用事があって時間がない人だけ練習着で帰ることを許可してほしい。
- 3生徒否決⇒**職時間にゆとりをもって行動し、下校の身だしなみを大切にしてください。**
- 4 髪型をツープロックにするのも許可してほしい。
- 5 極端すぎなければ、眉を整えることを許可してほしい。
- 4, 5生徒可決⇒**職常識の範囲内（他が違和感や不快感をもたない範囲）で可能 過度、極端な場合は指導します。**
- 6 制汗剤の匂いを（強いものでなければ）、ミント系のももありにしてほしい。
- 6生徒可決⇒**職他の迷惑にならない範囲で可能 香りの化学成分に敏感な人がいます。できるだけ、香りは控えてください。**
- 【その他】
- 7 男女分かれてする委員会での点検以外は、委員会の男女の関係をなくしたい。
- 7生徒可決⇒**職活動内容を見直し、適切に変えていくってください。**
- 8 試験の最終日を金曜日にしてほしい。
- 8生徒可決⇒**職学校として決めます。**
- ・学校として決める内容です。多数の方向では決まりません。目的をもってする場合もあります。気分転換は、別の方法で考えてください。

【18歳成人の時代に生きる生徒たちへ】

- 18歳成人の現実と向き合う生徒たちです。これまで以上に、社会への出口を意識して、社会性や常識（社会に出て困らない方向）を学んでほしいと願っています。
- ・ご家庭での判断もありますが、集団生活を行う学校での生活にご配慮ください。

